

10:00



山門上の天狗像(泉徳寺)



### 泉徳寺の金剛力士像

泉州の大寺より、天狗が両脇にかかえて飛んできたという言い伝えがあります。

泉徳寺(今木権現堂)

日本書紀と万葉集の世界を訪ねる散策ルート

# 万葉の歌に誘われて、 静かなる大和路をゆく。



万葉歌碑

情緒薫る、万葉の世界へタイムスリップ

「国のまほろば」と詠われた美しい景色の中を、万葉の歌碑をたどりながら歩いてみましょう。散りゆく藤の花を惜しみながら、ホトトギスが飛ぶ情景を詠った歌碑が建つ、泉徳寺の山門。吉野川の雄大な流れを、はじめて目にした感動を記した歌碑の

ある鈴ヶ森行者堂…。古代の人々のみずみずしい感性で綴られた和歌が、大淀町には残っています。歌碑に刻まれた世界を知ることで、万葉人の心に触れることができるかもしれません。あわせて、全国から修験者が訪れた泉徳寺や、かつて舟の往来でにぎわった柳の渡しなど、当時の繁栄ぶりを今に伝えるスポットをめぐるのもおすすめです。

10:45



坂合黒彦皇子墓

13:20



### 鈴ヶ森行者堂

かつて行者堂があった石塚遺跡にも記念碑があります。



万葉歌碑(鈴ヶ森行者堂)

9:30 【近鉄福神駅】

「近畿の駅100選」にも選ばれた、英国田園風の駅舎からスタート。



▼ 約2.7km(徒歩約30分)

10:00 【泉徳寺(今木権現堂)】

山門の両脇には、古くは全国の修験者が参拝し、旅の安全を祈願したとされる木造金剛力士像が立っている。

今木権現堂内外石仏群

堂内にある蔵王権現像は、石造りのものとしては奈良県内でも珍しいもの。内外にある石仏群17点は、町指定の有形民俗文化財となっている。  
※建物内の拝観を希望される場合や、説明をお聞きになりたい場合などは、事前にご連絡ください。  
TEL.0745-67-1731(泉徳寺)



今木の万葉歌碑

山門の傍らには、斉明天皇が最愛の孫、建王を幼くして亡くした悲しみを綴った歌碑がある。その向かいにも、持統天皇のお供が詠んだとされる万葉歌碑があるので注目したい。



●大淀町ふれあいバス「今木大井出」下車、徒歩すぐ。  
今木権現堂は、泉徳寺東側の山上。

▼ 約0.5km(徒歩約5分)

10:45 【坂合黒彦皇子墓】

皇位継承問題に巻き込まれ、弟(後の雄略天皇)らに殺害された坂合黒彦皇子が、新漢擬(槻)本南丘に葬られたと、『日本書紀』に記されている。



●大淀町ふれあいバス「今木交番前」下車。

▼ 約6.7km(徒歩約80分)

13:20 【鈴ヶ森行者堂】

大峯山へ向かう修験者が立ち寄った、一の行場。もとは石塚遺跡跡にあったが、昭和13(1938)年に移築された。

行者堂の右脇にある記念碑の前には、石塚遺跡から見つかった石塔(五輪塔)の地輪が置かれている。



鈴ヶ森の万葉歌碑

吉野川が大きく蛇行して流れる鈴ヶ森付近は、『万葉集』に詠われた「大川淀」の候補地とされる。

●奈良交通バス「大淀病院前」下車。

▼ 約5.0km(徒歩約50分)

14:50 【柳の渡し】

かつて吉野川にあった渡し場の1つ。悠々と流れる吉野川は、じっと見ていると飽きない『万葉集』に詠われたほど。

●近鉄六田駅から東へ徒歩約5分。

▼ 約0.6km(徒歩約5分)

15:05 【近鉄六田駅】

吉野川に沿って国道を歩くとゴールの六田駅に到着。

14:50



不動明王像(鈴ヶ森行者堂)



### 柳の渡し

現在石灯笼などが残る場所は、当時の渡し場より約80m下流になります。